

2016春季生活闘争解決促進地場組合支援交流会

5月26日(木)ホテルニュー長崎において、構成組織・単組の組合員と地協役員等、54名が参加し「2016春季生活闘争解決促進地場組合支援交流会」を開催しました。この交流会は、春季生活闘争において地場・中小労組の激励・支援や長崎地協構成組合相互の情報共有・交流を目的に例年開催しています。



長崎地協 酒井議長あいさつ

はじめに主催者を代表し長崎地協 酒井議長(長崎地協春季生活闘争本部長)が挨拶を行い、「大手についてはすでに一定の成果を引き出しているが、中小においてはまだ納得のいく回答を得られていないというところが多い。経営側は業績については一時金で反映したいという考えであるが、私たちの安定した生活のためにはベースアップという賃金の増額が最も重要である。今後も引き続き粘り強く交渉を続け、結果を引き出していきたい」と述べました。

続いて、長崎地協 芳川事務局長より「2016春闘連合長崎地協の取り組み」として、長崎地協の取り組み報告や、連合本部の中間まとめに触れ、「『底上げ・底支え』『格差是正』をめざした取り組みにより、大手組合と中小組合との回答額のかい離を縮小することができたことが、今年の特徴的な成果である。」と述べました。

引き続き、連合長崎地場中小状況報告として、2016春闘の交渉・回答状況について連合長崎佐竹副事務局長より、また産別・単組からの報告として、長崎電気軌道労組の木戸執行委員長、自動車総連長崎地協の山下事務局長よりそれぞれ報告を受けました。



連合長崎 佐竹副事務局長



電気軌道労組 木戸委員長



自動車総連 山下事務局長

集会終了後には交流会を開催し、参加者は交流を深めながら、情報交換を行いました。

最後に長崎地協・三重副議長の「団結がんばろう」で最後まで闘い抜くことを確認し、交流会を締めくりました。



「アジア・アフリカ支援米」田植えを実施



連合長崎では、アジア・アフリカで飢餓に苦しむ人々を救済するため、96年秋から連合長崎・各地協を通じた「ひとにぎり運動」と「カンパ運動」を実施、97年5月から休耕田を利用した取り組みを県下各地で行っています。

こうした支援田での米の収穫と、構成組織組合員からのカンパによる米の追加購入により米を海外に輸送しており、今年3月にも連合長崎から3,000kg(うち長崎地協で収穫分210kg)をカンボジアへ発送いたしました。

今年も21年目の継続的な活動として、6月4日(土)に支援田(長崎市西海町)による田植えを行い、雨の中でしたが組合員や家族64名(大人40名、子ども24名)が参加しました。

また10月には稲刈りを行いますので、多くのご参加をお待ちしています。



現地からの報告

長崎からの支援米は、国連WFP(世界食糧計画)を通じ、カンボジアにある教育施設「子どもの笑顔のために」(以下「PSE」)に寄贈されています。

WFPカンボジアのフランシスカ・エルデルマン(Francesca Erdelmann) 副代表はPSEセンターを2016年6月7日に訪問し、学校給食プログラムの実施を視察しました。このプログラムでは、午前中に朝食を提供し、また学校生徒の朝礼の時に米の寄贈が行われました。PSEの管理者と子どもたちは、大きな拍手に包まれながら、寄贈された米を受け取りました。



連合長崎地協・長崎地区労福協 共催

納涼ビアパーティー



7月27日(水)、連合長崎地協・長崎地区労福協の共催による「納涼ビアパーティー」をANAクラウンプラザホテルにて開催、組合員やご家族・退職者・事業団体など約180名の方にご参加いただきました。

パーティーでは、アトラクションとして「琉球國祭り太鼓」によるエイサーを披露いただき、参加者のみなさんも一緒になって盛り上がりました。さらに、抽選会などを交え、参加者は歓談をしながら交流を深めていました。



琉球國祭り太鼓のみなさんによるエイサー



抽選会で1等を獲得した全日通労組 小佐々さん

プロ野球観戦ツアー

～福岡ソフトバンクホークス VS 読売巨人軍～

6月12日(日)毎年恒例の福岡ヤフオクドームでの「プロ野球観戦ツアー」を開催しました。県内各地協から総勢317名が参加し、うち長崎地協からは、長崎市からバス3台(143名)、西海市からバス1台(42名)、計185名が参加しました。

試合は、初回にソフトバンクホークスが2ランで先制、その後も攻撃の手を緩めず、打点を重ねました。巨人も、終盤に追い上げを見せるも及ばず、7対5でソフトバンクホークスが勝利しました。



平和行動in沖縄



～恒久平和の実現に向けて 次世代につなぐ新たな一歩を～

沖縄県は6月23日を太平洋戦争における沖縄戦の終結した日として、慰霊の日に制定しています。この慰霊の日にあわせ、連合は6月23日～24日に「2016平和行動in沖縄」を開催し、連合長崎から27名、うち長崎地協より1名が参加しました。

○2016平和オキナワ集会

第1部では「語り部から学ぶ次世代への継承と沖縄の現状」の演題で沖縄カリスマスーパーバスガイドの崎原真弓さんから、歌や三味線、踊り、一人芝居などを交えた講演を受けました。

第2部の平和式典では、主催者挨拶のあと、平和メッセージをはじめ、連合広島へのピースリレー、平和アピールが行われました。



○「在日米軍基地の整理・縮小」と「日米地位定の抜本的見直し」を求める行動

沖縄県庁前で開催された集会に参加、引き続き、国際通りを牧志公園までデモ行進を行いました。



○フィールドワーク

南部戦跡フィールドワークとして、旧海軍司令部壕、平和祈念公園(摩文仁の丘)、ひめゆりの塔等を巡りました。



第24回参議院議員選挙

ご支援ありがとうございました!

長崎県選挙区「西岡秀子」氏は、終盤戦に追い上げ相手候補にあと1歩のところまで迫ったものの、約5万票の差で自民党現職に惜敗し、議席奪還はなりませんでしたが、長崎市・長与町・時津町においては、自民候補を上回る票を獲得することができました。これも長崎地協構成組織のみなさまの最後まで粘り強いご支援の賜物であります。

また比例区においては、連合推薦候補者12名(連合長崎構成組織内候補としては10名)のうち8名が当選することができました。全国的には12人の候補者名での得票数は約211万票で、2007年に獲得した過去最多の約182万票から28万票を超える増となりました。

みなさまのご支援・ご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。